

積み重ね つみ重ねても またつみかさね

令和5年3月17日 卒業おめでとう号 文責：佐野紳二

祝・卒業 これからも 積み重ね つみ重ねても またつみかさね

今日、3月17日は楡形北小学校の第64回卒業証書授与式。38名の6年生の新たな旅立ちの第一歩となる日です。6年生の皆さん、そして保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。



私が皆さんと一緒に過ごしたのは2年間でした。5年生の時のみなさんはまだちょっとやんちゃなところがあり、自分たちの持っているパワーをどこに向けていいか分からずに迷っているような印象がありました。しかし、4月になり、「Let's Try!」の合言葉のもとで自分たちの進むべき方向を見出し、最上級生として活動を始めたみなさんは、楡形北小学校のリーダーにふさわしい、素晴らしい活躍を見せてくれました。

6年生としての初めての大きな行事は1年生を迎える会でした。会の運営もさることながら、その前に1年生教室に6年生がみんなで出向き、読み聞かせをする姿に最上級生としての自覚とやる気を感じました。1年生もきっと嬉しかったことと思いますが、校長先生もとても嬉しかったです。児童会活動では、「みんなであいさつをしよう!」「みんなであつなろう!」「みんなで学校のため、人のために取り組もう!」「みんなで前向きな気持ちにしよう!」の4つの柱を提案し、あいさつ運動やたてわり班活動、バースデー活動、ふわふわ郵便局などの活動を進めてくれました。特に今年新たに取り組んだ「ふわふわ郵便局」では、全校の間で互いの頑張りを認め合う素敵なメッセージ交換がなされ、笑顔が広がりました。運動会の前にはたてわり班でのあやめっ子タイムにも挑戦してくれました。みなさんの今年1年間の活動は、きっと来年度以降の児童会活動のよい見本になったと思います。

5月に行われた親睦球技会では、仲間と最後まで一つのボールをみんなで追いかけるみなさんの姿がとても印象的でした。お互いに声を掛け合い、頑張っていたみなさんの姿はとてもカッコよかったです。

球技会が終わって間もなく出かけた2泊3日の修学旅行。アジサイが美しかった初夏の鎌倉での班別自



主見学や、2日目の八景島シーパラダイスでの班行動でも、班の仲間とよく話し合い、協力して活動する姿が見られました。目標としていた「全員が楽しめる修学旅行」も、しっかり達成できた3日間でした。

2学期に行われた運動会。久しぶりに実施された全校（たてわり班）種目では、下級生に優しく声をかける6年生の姿を見ることができました。また、組立体操「Let's Try×七転八起」では、5年生と協力して素晴らしい演技を披露してくれました。

陸上記録会の取り組みでも、種目ごとに協力して練習に取り組む姿がよく見られました。陸上競技は個人種目ですが、練習はそうじゃないんだ、ということが皆さんの姿を見て、改めて分かりました。休み時間、担任の先生と一緒に校庭のトラックを走る6年生の姿はキラキラと輝いていました。陸上記録会と並行して練習を進めていたドレミファ発表会は、コロナのため多くの学年が動画での発表となりました。6年生もその時



は発表ができませんでしたが、3学期の授業参観と6年生を送る会で、見事に息の揃った「カイト」の演奏を披露してくれました。この3年間、特に音楽の時間は制限が多く、練習も思うようにならない時期がありましたが、そんなことを全く感じさせない、素晴らしい合奏でした。

そして、本で行われる卒業式。この通信を書いている時点では卒業式に臨むみなさんの姿を見ることはできていませんが、練習を重ねるごとに呼びかけの声も、合唱も、証書を受け取る時の所作や座っている姿勢も日に日に素晴らしくなっていくみなさんの姿

を見て、きっと素晴らしい、感動的な卒業式が行われたと、私は確信しています。

Let's Try! ～明日への希望～（学年目標）

全校でふやそう！笑顔あふれる四つ葉のクローバー ～Let's Try! やってみよう！～

Let's Try! みんなが楽しかったと思える修学旅行にしよう（修学旅行テーマ）

きずなを見せよう！ ～フォロー、協力、笑顔、Let's Try!～（球技会テーマ）

Let's Try! 全校でこころを一つに！～きずなを深める運動会～（運動会テーマ）

Let's Try! ～最高の卒業！そして、未来へのスタート！～（卒業式テーマ）



6年間の小学校生活のうち、半分以上の3年と1か月をコロナ禍の中で過ごしたみなさん。「コロナじゃなかったら…」と思うこともたくさんあったことと思いますが、私が今年1年間の中で見たみなさんの姿は、「できないんだから仕方ない…」と、下を向いてうつむく姿ではなく、どんなときにも「Let's Try!」の合言葉のもと、自分たちで未来を切り拓いていこうとする姿でした。その姿は下級生のよい見本となったばかりではなく、楡形北小学校がこれから進んでいくべき道を示してくれた、実に素晴らしいものでした。是非、小学校生活6年間（特に最上級生として活躍した今年1年間）で自分たちがやってきたことに自信と誇りを持ち、堂々と胸を張って、前を向いて歩み続けてほしいと思います。

卒業式での、私からの「はなむけの言葉」の一部を掲載します。

みなさんに、私から最後に一つの言葉を送りたいと思います。それは、みなさんもよく知っている、本校出身で耐震構造理論の生みの親と言われる内藤多仲博士が残した言葉、

「積み重ね つみ重ねても またつみかさね」

です。多仲先生が残したこの言葉は、多くの人に感銘を与えています。真摯に努力を積み重ねることの大切さを私たちに伝えてくれるこの言葉を、私は次のように「三つの積み重ね」と捉え、みなさんに送りたいと思います。

一つ目の「積み重ね」は、さまざまな経験を積み重ねることです。みなさんはこれから、さまざまな人やものに出会い、たくさんを経験していくことでしょう。その一つ一つの出会いに、無駄なものなど何一つありません。中学校や高校、さらにその先の未来でも、「レッツ・トライ」の気持ちを持ち続け、できるだけたくさんを経験をしてください。一つ一つの出会いと経験が、みなさんの成長を支える土台となるはずです。

二つ目の「つみ重ね」は、そうしたたくさんのお出会いや経験の中から、自分が進むべき道を見つけ、日々の努力を積み重ねていくということです。途中で、ほかの人のアドバイスに耳を傾ける柔軟性はもちろん大切ですが、自分が信じたこと、これだと決めたことは、強い意志をもって貫き通していくこともまた大切です。

そして、三つ目の「積み重ね」は、現状に満足することなく、常に高みを目指し、自分自身を磨き上げていくということです。勉強も仕事も、趣味や特技でも、どんなことにおいてもゴールや終わりと言えるような到達点は存在しないはず。「到達した」と思うことで、自分自身の成長を止めてしまうことになります。だからこそ、「積み重ねても」終わることなく「またつみかさね」るのです。

そうやって、つみかさねて続けていくことで、きっとみなさんが東京タワーのトップデッキから見たような素晴らしい景色が、自分が信じたそれぞれの道の先に広がっていることを目にすることができるはずですよ。



昨年、そして今年の2年間、みなさんと一緒に学校生活を送ることができてとてもよかったです。みなさんの頑張る姿を見て、私もまだまだ頑張らなければ！と思えることが多い2年間でした。中学校でも、一人一人それぞれの「よさ」を存分に発揮し、活躍されることを期待しています。

最後に、みなさんに三篇の詩をプレゼントします。ひとつは、内藤多伸博士と同じく「積み重ねる」ことの大切さを伝えてくれる坂村真民さんの詩、あとの2つは、みなさんの卒業アルバムでも紹介をした須永博士さんの詩です。

つみかさね

坂村真民

一球一球のつみかさね
一打一打のつみかさね
一歩一歩のつみかさね
一坐一坐のつみかさね
一作一作のつみかさね
一念一念のつみかさね

つみかさねの上に
咲く花
つみかさねの果てに
熟する実
それは美しく尊く
真の光を放つ

挑戦

須永博士

“やるぞ”の気持ちが
心の中にあれば
必ず
すばらしい
夢が
仕事か
できる

君よ
“やるぞ”で
今日も自分の人生
頑張れ

前へ

須永博士

夢に挑まなくて
自分を鍛えなくて
日々努力をしなくて
なんで青春と言える
たえず自分を
だしきってゆけ
たえず自分を
強くしてゆけ
たとえ挫折しても
失敗しても
それが次の生きる土台になる
さあ 前へ出る
前へゆけ
自分の人生は絶対大丈夫と決めて
絶対夢はつかめると信じて
さあ 前へ前へ
生きてゆけ

これからも、「Let's Try!」の気持ちを忘れず、自分の未来を切り拓いていってください。

